

地域とともに歩み、
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校
校報第140号
令和3年(2021年)2月12日
文責：校長 法山 由紀子

6年生と「ほっこりミーティング」

今日現在、6年生の卒業までのカウントダウンカレンダーの数字は、「24」。小学校生活も残りわずかとなりました。

2月のはじめから、卒業前の6年生を順番に校長室に招待して、「ほっこりミーティング」を行い、素敵な時間を過ごしています。どのチームがやってきても、どんなことも安心して言える雰囲気があり、そんな中で自分の思いを素直に語ってくれる姿が見られます。「この子たちが愛おしい！」と思える瞬間がいくつもあって、「ほっこりミーティング」の時間を心待ちにしている私です。

「もし、タイムマシンがあったら」という質問に、「もう一度、修学旅行の日にもどりたい」と答えてくれた子がいました。こんなうれしいことを言ってくれる子がいて、今年度コロナ禍の中、保護者のみなさんのご理解を得て、修学旅行を行うことができ本当に良かったと改めて思いました。「心に残る思い出」という問いに、「5年生のときに初めて委員会に入った。そのときの6年生がかっこよくて、自分もあなりたいと思った。」と答えてくれた子。今も同じ委員会で、その姿を追いかけてがんばってくれているとのこと。「きっと、今、あなたの姿を目指す5年生がいるよ。」そんな思いにさせられました。これから、まだまだミーティングは続きます。今回は、6年生が在校生へ残してくれたメッセージをいくつかご紹介します。



「卒業生から在校生にひとこと」・・・あなたたちからもらった言葉、大事にしたい。

- みんな、いつも笑顔でね。
- あいさつをして、地域の人にも笑顔にしてください。
- 5年生へ。これからは一人ひとりがリーダーとしてみんなを引っ張ってください。
- 勉強は大変だけど、先生の話聞いていたら大丈夫だよ。
- 恋愛もがんばってね。
- 失敗をおそれず、チャレンジしてください。
- コロナが続くけどあきらめずに、やったことのないことにチャレンジしてください。
- みんなでもっともっと石部小学校をいい学校にしてください。

「生きる」ってすてき！

令和2年度「湖南省の小さな詩人たち事業」の小学校4～6年生の「詩部門」において、本校6年生の北村結愛さんの作品が優秀賞に選ばれました。

この作品は、今年度の運動会で団体演技のテーマが「生きる」であったことから、結愛さん自身が「生きるってどういうことだろう」と改めて自分に問いかけて生まれたもの。


1月21日(木)に石部文化ホールで行われた表彰式では、結愛さんが入賞作品を暗誦し、ステージ上から堂々と発表しました。

また、同じ詩の部門で6年生谷俊輔さんの「私は石」(次回紹介)と五七五部門で5年生中本浩太さんの作品が佳作に入賞しました。

生きる
石部小学校
六年 北村 結愛

生きる
生きる喜び
自分と向き合う
今つながる
大切にしたいこと
つながる
今、動く
生きていることに感謝し
一生を大切にす

生きているから
喜べる
向き合える
つながれる
大切にできる
動ける
みんなと自分を大切にす

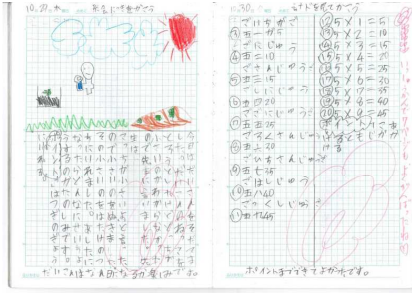


やった!!! 自主学習チャレンジ100 100人達成

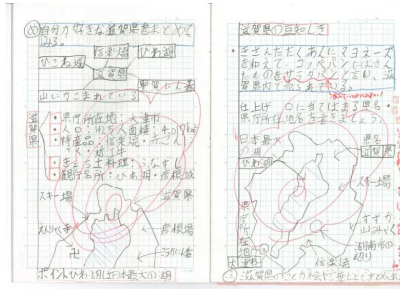
11月号で「100ポイント達成者が50名を超えました。目標は、年間で100名です。」とお知らせしていましたが、1月19日について達成者が100名を超え、2月10日現在で124名となっています。昨年度は30名であったことから今年度の伸びを実感しています。

主体的に学ぶ子の育成を目指し、自ら興味あることやチャレンジしたいことに取り組む自主学習。学校から出される宿題とは別にこうやって多くの子どもたちが取り組んでいることをうれしく思います。

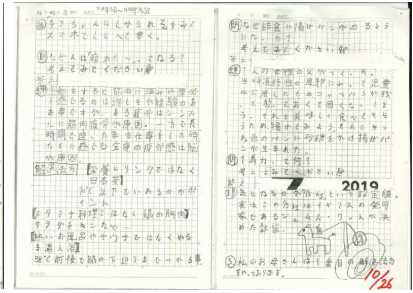
「どんなことをやったらいいのかな?」というときは、HP「チャレンジいしべっこ」をぜひ参考にしてください。



すてきな絵日記と九九(2年)



大好きな滋賀県調べ(4年)



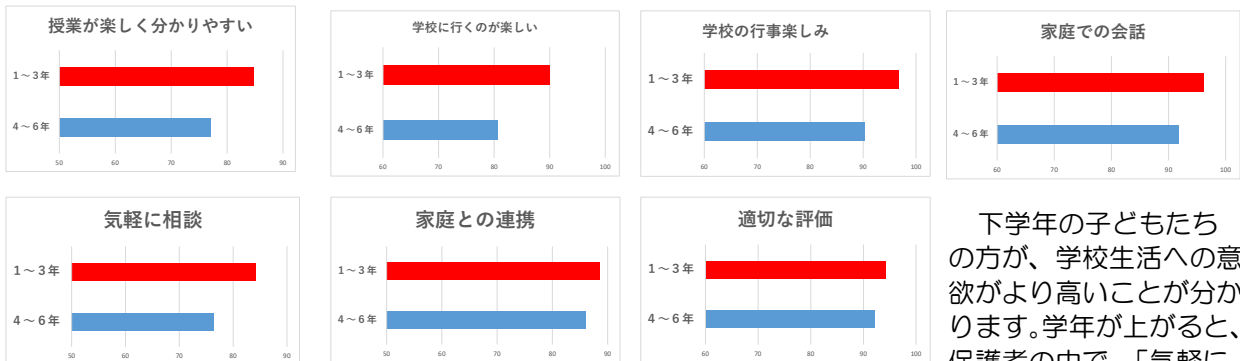
TVで気になったことを調べた(6年)

令和2年度学校評価 その2 (発達段階による比較)

前回に続いて、「学校生活アンケート」の分析です。今回は14の項目を下学年(1~3年)上学年(4~6年)に分けて肯定的な回答をいただいた割合を比較してみました。

*グラフは上段が下学年(1~3年生) 下段が上学年(4~6年)。1目盛り10ポイント。

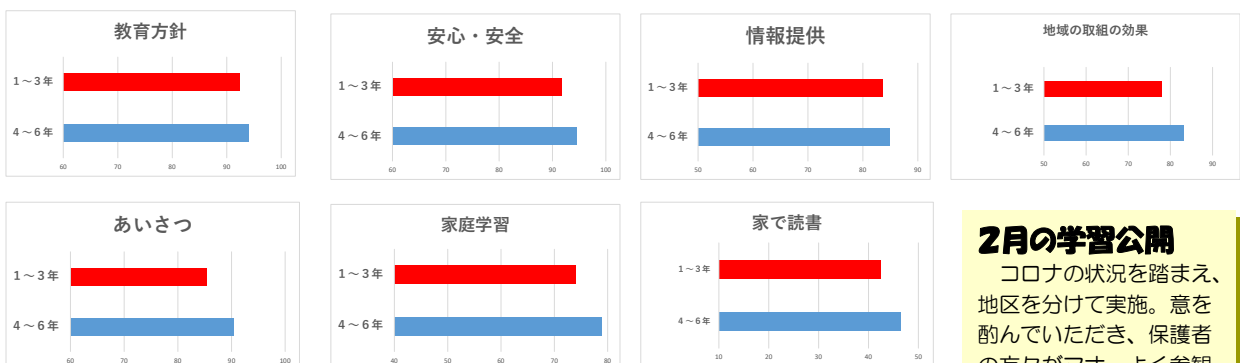
【上学年が下学年を下回った項目】



下学年の子どもたちの方が、学校生活への意欲がより高いことが分かります。学年が上がると、保護者の中で、「気軽に

担任に相談しにくくなった。学校からの連絡がもっとほしい。」と感じられる方の割合が増えています。

【上学年が下学年を上回った項目】



「あいさつ」「家庭学習」「読書」といった全校的に大切にしている取組において、上学年で伸びているということが見てとれます。また、地域の方々の協力による教育活動の効果を学年が上がるにつれ実感していただいています。コミュニティ・スクールの取組が浸透してきている成果であると感じています。

ただ、学校運営協議会に関わる地域のみなさんへのアンケートでは、36%の方が「いしべっ子は地域でのあいさつがまだまだできていない」との回答。今後の宿題と考え、改善策をさまざまな機会に考えていきたいと思います。

2月の学習公開

コロナの状況を踏まえ、地区を分けて実施。意を酌んでいただき、保護者の方々がマナーよく参観して下さっています。

